

キラキラあふれる

いのちの息吹。

静かに流れる

幸せなとき。

笑う

きやつきやつとこどもが笑う。

思わずにこつと振り返る。目と目がびたつと合うと、もうそれだけで幸せになる。こどもの笑顔は周りの大人を元気にしてくれます。

笑顔の中にあるきらめきは、いのちそのものの輝き。その光を大人の不注意で消してしまわないように、そしていつもきらきら輝いているように、気を配り、心を配り、全力であたたかく守り、全力で静かに支えていく。それがこどもを育てるということです。こどもの笑顔が多いほど、親の幸せもまた大きくなる。笑顔が減ると子育てが難しくなる。だからもう一度原点に戻って考えてみたいのです。子育てって、何をしたいことなのかと。

全ての親の共通の願い、それは「こどもの幸せ」です。